

報道関係者各位

2024年8月20日
株式会社 NEWONE

働きがい・働きやすさが上がる要因をランキング形式で公開

働きがいには“達成感”、働きやすさには“オフィス環境”がキーとなる

エンゲージメント向上を軸とした組織開発・人材育成コンサルティング支援を通して“推しゴト改革”を進める株式会社 NEWONE（本社：東京都千代田区 代表取締役：上林周平、<https://new-one.co.jp/> 以下、NEWONE）は、20代～40代の会社員 618名を対象に、「職場に関するアンケート」を実施しました。

■調査背景

当社にて2024年4月に発表した「“推せる職場”に関する定量調査」において、自分が働く職場を「働きがいを感じ、働きやすい職場」と回答した方は、全体の18%という結果でした。そこで、今回のレポートでは、2024年5月に実施した新たな「職場に関するアンケート」のデータに続き、推せる職場をつくるための要素である、働きがいと働きやすさを高める要因について、紐解いていきます。

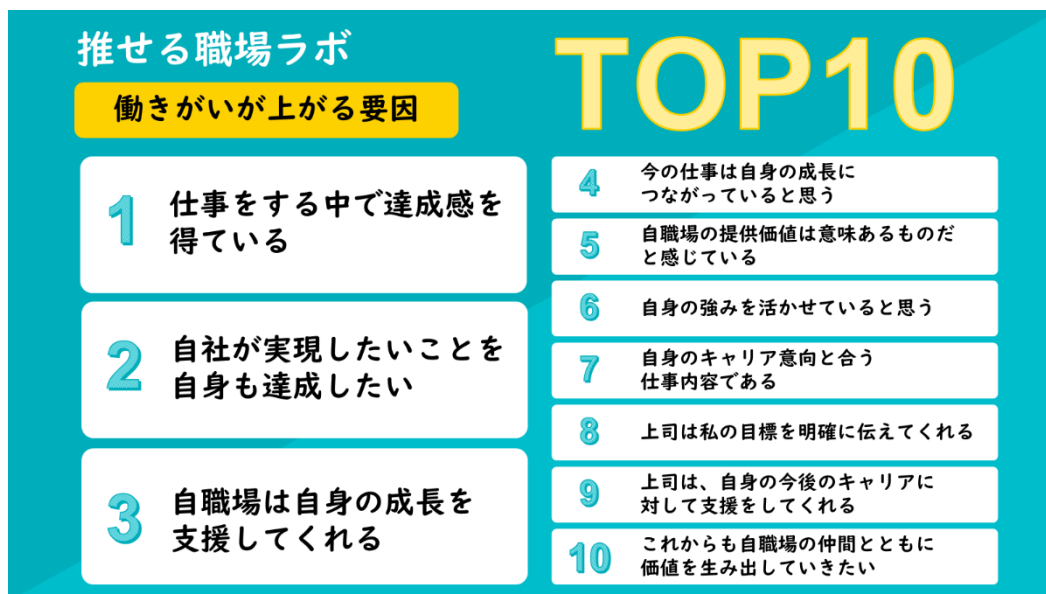
■調査サマリー

- 働きがい・働きやすさが上がる要因をランキング形式で公開
「優しすぎる職場」→「推せる職場」へ変化するキーは“達成感”！
- 『働きがい』に対して達成感の相関が最も高い結果に。社員の強みを活用して意向にあった仕事を担い、かつ職場の成長支援をすることが重要。
- 『働きやすさ』は残業時間より上司の適切なケア！オフィス環境も重要だが、上司が誠実に成長やキャリア支援をしてくれることとも高い相関。

■各調査結果のご紹介

働きがい・働きやすさが上がる要因をランキング形式で公開

今回は自分の職場を“働きがいのある職場”“働きやすい職場”と回答した人に向けて、その特徴を調査しました。調査結果から、『働きがい』が上がる要因は仕事をする中で達成感を得ていることであると分かりました。



続いて、『働きやすさ』が上がる要因には、上司が適切に接してくれるかどうか重要であると判明。オフィス環境も重要ですが、残業時間よりも上司が誠実に成長やキャリア支援をしてくれることが『働きやすさ』に大きく影響を与えることが分かりました。

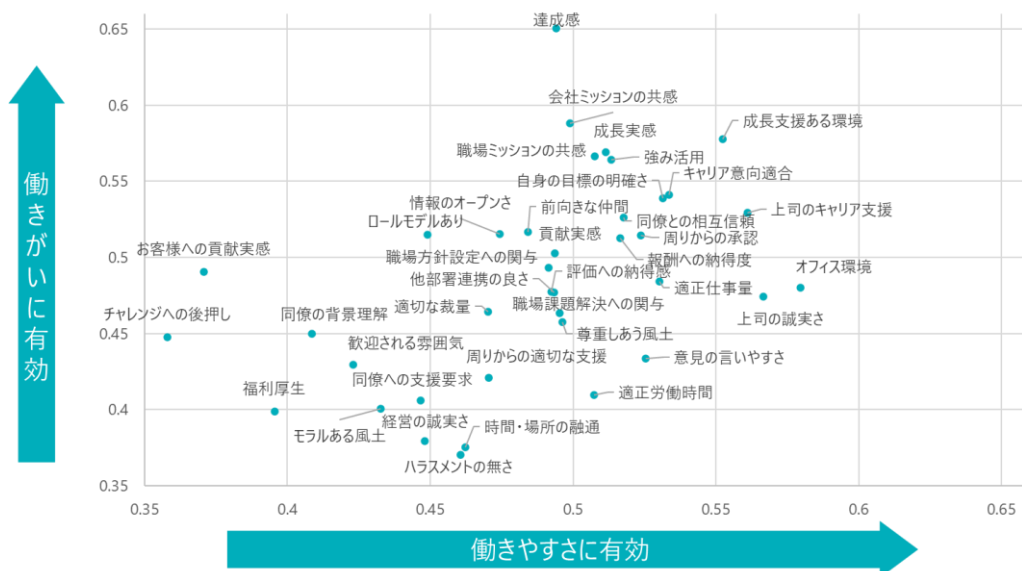


それぞれの要因を散布図で見ると、オフィス・上司の誠実さ・適正労働時間のような環境面は”働きやすさ”傾向が強く、達成感・ミッション共感・成長実感・強み活用などが”働きがい”傾向が強いことが推測できます。

推せる職場を作る上で、意向にあう仕事内容で上司が適切に関わっていることは、『働きがい』『働きやすさ』ともにベースとして大事な項目だと読み取れます。また、『働きがい』の相関が高いのは、達成感やビジョン共感、情報のオープンさ、前向きな人やロール

モデルなど、活気ある職場カルチャーが想像できる項目。一方、『働きやすさ』の相関が高いのは、オフィス環境や上司の誠実さ、労働時間や仕事量などであり、環境面の傾向が強いことが分かります。

働きがいと働きやすさの要因



年代別・働きがいが上がる要因

働きがいがあがる要因ランキングを、年代別でも集計。20代・30代で最も高かったのは「仕事をする中で達成感を得ている」、40代で最も高かったのは「自職場は自身の成長を支援してくれる」となりました。年代ごとに、特徴が少しずつ異なることが分かります。

年代別 働きがいが上がる要因 TOP10

20代		30代		40代	
1	仕事をする中で達成感を得ている	1	仕事をする中で達成感を得ている	1	自職場は自身の成長を支援してくれる
2	自社が実現したいことを、自身も達成したい	2	上司は私の目標を明確に伝えてくれる	2	仕事をする中で達成感を得ている
3	これからも自職場の仲間とともに、価値を生み出していきたい	3	上司は、自身の今後のキャリアに対して支援をしてくれる	3	今の仕事は自身の成長につながっている
4	自身の強みを活かしていると思う	4	自職場では必要な情報がオープンでアクセスしやすい	4	自職場の提供価値は意味あるものだと感じている
5	自身の仕事で職場に貢献できていると思う	5	自社が実現したいことを、自身も達成したい	5	自社が実現したいことを、自身も達成したい
6	職場課題を意思決定者（上司など）に伝えられる機会がある	6	今の仕事は自身の成長につながっている	6	自身の強みを活かしていると思う
7	自職場は自身の成長を支援してくれる	7	自身のキャリア意向と合う仕事内容である	7	自身の報酬は納得できるものである
8	自職場の提供価値は意味のあるものだと思う	8	自職場は自身の成長を支援してくれる	8	自身のキャリア意向と合う仕事内容である
9	自職場の方針の設定に関与できる感覚がある	9	自身の強みを活かしていると思う	9	仕事面で真似をしたいロールモデルが周りにいる
10	上司は、自身の今後のキャリアに対して支援をしてくれる	10	同僚は仕事に前向きに働いている	10	上司は私の目標を明確に伝えてくれる

※2024年5月 推せる職場ラボ「職場に関するアンケート」より

■本調査における前提

働きがい×働きやすさ⇒人に推薦・紹介できる『推せる職場』

NEWONE では、“働きがい”と“働きやすさ”の観点から、職場を4象限に分類しました。

- ・働きがいを感じ、働きやすい職場 … 推せる職場
- ・働きがいを感じ、働きにくい職場 … ストイックな職場
- ・働きがいを感じにくく、働きやすい職場 … 優しすぎる職場
- ・働きがいを感じにくく、働きにくい職場 … 残念な職場

[“推せる職場”に関する定量調査](#)によると、自分が働く職場を「働きがいを感じ、働きやすい職場」と回答した人は、最も少ない18%でしたが、回答者の半数以上(59%)が自分の職場を“推せる(推薦できる)”と回答。「働きがいを感じ、働きやすい職場」で働くビジネスパーソンほど、自分の職場を『推せる職場』と捉えている傾向が高いと分かりました。

■調査概要

調査対象：株式会社マクロミル運営サイトに登録している20代～40代の社会人618名

調査期間：2024年5月15日～16日

調査委託先：株式会社マクロミル

調査方法：インターネットでのアンケート

集計方法：クロス集計

※本調査結果をご利用の際は「NEWONE 調べ」のクレジット記載をお願いいたします。

■本調査のダウンロード

本調査の詳細データは、下記URLよりダウンロードいただけます。

<https://oserushokuba.jp/report/report03>

※その他の調査はこちら：<https://oserushokuba.jp/>

■株式会社 NEWONE 会社概要

「他にはない、新しい(new one)価値を生み出す」を社名に掲げ、エンゲージメントをテーマに、「個人の意識変革」と「関係性の向上」を中心とした企業向けコンサルティング、人材育成・組織開発を提供。人的資本経営が企業にとって重要な課題となっている昨今、社員が自発的に仕事にのめり込む、熱中していく状態、好循環なエンゲージメントサイクルで生み出す職場「推せる職場」づくりを通して、Softbank、カゴメ、三菱地所ホームをはじめ、多数の企業様の支援を実施しています。

*2022年7月に企業経営者や人事担当者、マネジメント層と接してきた経験をもとに、これからのリーダーに必要なマネジメントのノウハウ本『人的資本の活かしかた』発売

URL : <https://www.amazon.co.jp/dp/477621217X>

- ・所在地：東京都千代田区隼町 2-19-4F
- ・設立日：2017年9月1日
- ・代表者：上林周平
- ・事業内容：コンサルティング、企業研修・組織開発等
- ・URL : <https://new-one.co.jp/>

【本件に関する企業様からのお問い合わせ先】

<https://new-one.co.jp/contact/>